

# 大和ベストチョイス・オープン

## 第24期分配金は500円(1万口当たり、税引前)

2018年3月28日

平素は、「大和ベストチョイス・オープン」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2018年3月26日に第24期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、500円（1万口当たり、税引前）と致しましたことをご報告申し上げます。

当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

①分配対象額は、配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

②分配対象額から、基準価額の水準を勘案して分配します。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和投資信託）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

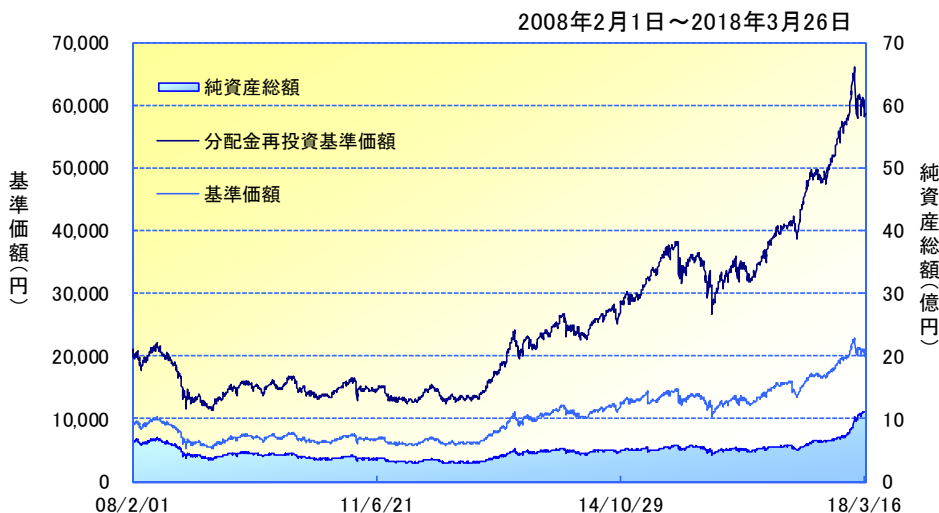
### 《基準価額・純資産・分配の推移》

2018年3月26日現在

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 19,745円 |
| 純資産総額 | 10億円    |

#### 《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

| 決算期    | (年/月/日)   | 分配金     |
|--------|-----------|---------|
| 第1～19期 | 合計:       | 10,255円 |
| 第20期   | (14/3/24) | 350円    |
| 第21期   | (15/3/24) | 1,800円  |
| 第22期   | (16/3/24) | 0円      |
| 第23期   | (17/3/24) | 1,600円  |
| 第24期   | (18/3/26) | 500円    |
| 分配金合計額 | 設定来:      | 14,505円 |
|        | 直近5期:     | 4,250円  |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

# 大和投資信託

Daiwa Asset Management

## ■ 市場動向

第24期の国内株式市況は、TOPIX（東証株価指数）で8.3%の上昇となりました。期首より、トランプ米国大統領の政策に対する期待と不透明感が交錯し一進一退で推移しましたが、2017年4月に入ると、北朝鮮の地政学リスクの高まりが懸念され株価は下落しました。しかし4月後半からは、地政学リスク悪化の一巡に加えて、フランス大統領選挙で中道派のマクロン氏が極右政党の候補者を抑えて当選したことが好感され株価は上昇しました。6月以降は、欧米の中央銀行による金融引き締めペースの見方が交錯し株価は横ばい圏で推移しました。8月に入ると、再び北朝鮮に関わる地政学リスクが高まったことや米国の物価統計の弱含みにより米国の2017年内の利上げ観測が後退したこと、対米ドルでの円高が進行したことなどが影響し株価は軟調に推移しました。9月半ば以降は、米国の年内利上げ観測が再び高まり円安米ドル高となったことや北朝鮮問題への懸念が一服したこと、10月に行われた衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを受け株価は上昇しました。11月半ばには急激な株価上昇への懸念から調整する場面が見られたものの、その後は、堅調な国内企業業績や米国税制改革法案の議会審議の進展および同法の成立が好感され株価は上昇しました。2018年2月に入ると、米国長期金利が急上昇したことが嫌気されて株価は下落しました。その後、株価はいったん下げ止まりの気配を見せたものの、期末にかけては、米国トランプ大統領が中国製品に関税を課す大統領令に署名したことで、米中貿易戦争への警戒からリスク回避姿勢が強まり大きく下落し、不透明な相場展開が継続しました。

## ■ 運用経過

第24期の当ファンドの基準価格騰落率は41.8%の上昇となり、参考指数であるTOPIXの騰落率8.3%を大幅に上回りました。当ファンドでは、日本経済の構造的な転換の中で、新しい時代をとらえ、将来性、成長性が期待される企業の株式を厳選して投資しています。相場の先行き不透明感が強まる局面でも、明確な成長ストーリーを持つ銘柄が大幅に上昇したことなどがファンドのパフォーマンスに寄与しました。

個別銘柄では、住宅・不動産業者向けに先進的な部材や技術、経営指導などを提供するコンサルティング企業であるハイアス・アンド・カンパニーや、駐車場上部の空き空間を活用した土地利用サービスを提供するフィル・カンパニーなどがパフォーマンスに寄与しました。いずれの企業についても、経営陣への取材、アナリストとの協議を経て、新市場を創造するに足る独自の技術力、ビジネスモデルを有する企業と判断し、成長ストーリーへの確信度を深めた上で投資を行いました。

## 組入銘柄紹介① フィル・カンパニー

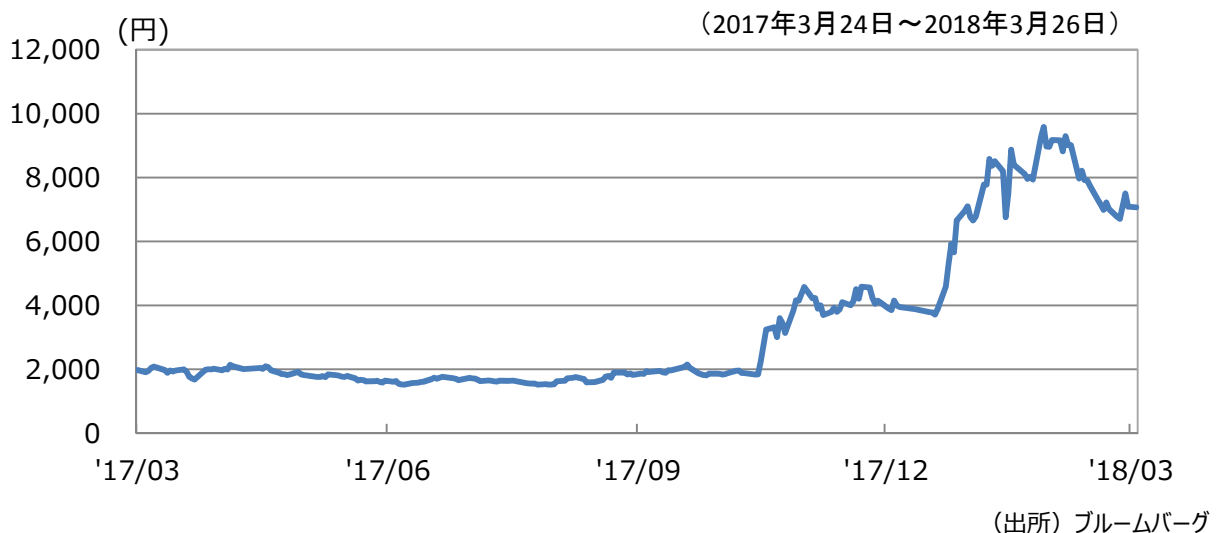
### 事業内容

駐車場上部の空中店舗の企画・プロジェクトマネジメントサービス、施工を提供。

### 選定理由

- ① 「駐車場の上部空き空間を活用した土地利用」という新しい市場を開拓。ビジネスモデルおよび潜在的な市場規模等を評価。経営陣の取り組み意欲も高い。
- ② 決算説明会への参加、経営者への取材、アナリストとの協議を経て、以下の点を確認。
  - ・ 従来、面積等の問題で駐車場以外に利用できなかった土地を、駐車場+テナントにすることで、両方の収益を獲得する新たなモデルを創出。
  - ・ マザーズへの上場や銀行との提携によって紹介案件も増加し成長余地は大きい。
  - ・ 駐車スペースを残しながら施工するノウハウがあり、高い参入障壁がある。
  - ・ 東証1部への昇格や利益目標を公表。成長への強いコミットメント、高いモチベーションを評価。

### 株価の推移



## 組入銘柄紹介② ハイアス・アンド・カンパニー

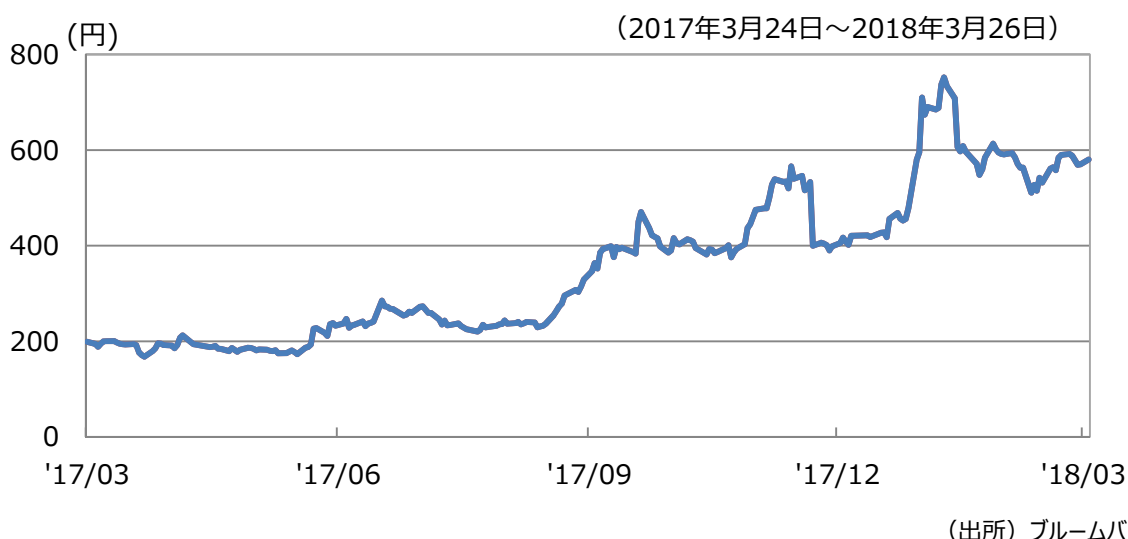
### 事業内容

住宅・不動産業者向けに、先進的な部材や技術の提供、ビジネスモデルの開発、人材研修等を会員企業に提供するコンサルティング企業。

### 選定理由

- ① 地方の住宅・不動産業者をネットワーク化し、建築部材や技術を提供することで、供給が限られてきた高品質住宅（オシャレな一戸建て住宅）を地方工務店が安価に供給することを可能にした。当社が自ら施工するのではなく、会員企業にノウハウを提供。その上で会費などのストック型収益を得るビジネスモデルを構築するなど、技術力、商品開発力、ビジネスモデルで新たな市場を創造したことを評価。
- ② 決算説明会への参加、経営者への取材、アナリストとの協議を経て、会社のビジョン、ビジネスモデル、市場での優位性等を確認。
  - ・ ネットワーク化＝囲い込み＝参入障壁であり、会員数の増加は同社の商品の優位性を示す。安定収益としての会員費と、従量型のロイヤリティフィー等があり、いずれの成長も確認。
  - ・ 自社で施工を行わないことでヒト、モノを抱えない身軽な経営も魅力的。
  - ・ 地域ごとに会員数が制限され既に半分は埋まっているという状況。拡大余地が狭いようにも思われたが、実績の低い会社は退会、新規業者を追加して収益底上げの対策を実施。
  - ・ 地域ごとの会員組織や定期的に全国の会員が集まる機会の提供など、会員が経営に前向きになる仕組み作り。

### 株価の推移



## 大和ベストチョイス・オープン

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

- 主としてわが国の証券取引所第一部上場株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

#### ファンドの特色

- 日本経済の構造的な転換の中で、新しい時代をとらえ、将来性、成長性が期待される企業の株式を厳選して投資します。
  - ・銘柄の選定は、企業業績の変化、技術力・商品開発力の有無、ニュービジネス・事業の再構築への取組み、各種投資指標等の観点を重視して行ないます。
- 次のような点に注目して、「良い銘柄を発掘（＝ベストチョイス）」し、パフォーマンスの向上に努めます。
  - イ．増益率の変化など企業業績の変化
  - ロ．新市場を創造するに足る独自の技術力や商品開発力
  - ハ．環境変化に伴うニュービジネスへの取組み
  - ニ．事業の再構築への取組み
  - ホ．PER（株価収益率）、PBR（株価純資産倍率）、ROE（自己資本利益率）等の各種投資指標
- ・市況動向、基準価額水準等によっては、弾力的に対処する場合があります。
- ・株式の組入比率は、機動的に変更します。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

### 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

大和ベストチョイス・オープン

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用      |                                  |                                                                           |
|---------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
|                     | 料率等                              | 費用の内容                                                                     |
| 購入時手数料              | 販売会社が別に定める率<br><上限>2.16%(税抜2.0%) | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。                                    |
| 信託財産留保額             | ありません。                           | —                                                                         |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |                                  |                                                                           |
|                     | 料率等                              | 費用の内容                                                                     |
| 運用管理費用<br>(信託報酬)    | 年率 0.9936%<br>(税抜 0.92%)         | 運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。                              |
| その他の費用・<br>手数料      | (注)                              | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託  
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会



## 大和ベストチョイス・オープン 取扱い販売会社

| 販売会社名（業態別、50音順）<br>（金融商品取引業者名） |          | 登録番号            | 加入協会    |                         |                         |                            |
|--------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|                                |          |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
| 株式会社関西アーバン銀行                   | 登録金融機関   | 近畿財務局長(登金)第16号  | ○       | ○                       |                         |                            |
| 株式会社SBI証券                      | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号  | ○       | ○                       |                         | ○                          |
| 岡三にいがた証券株式会社                   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第169号 | ○       |                         |                         |                            |
| 岡地証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第5号   | ○       |                         |                         |                            |
| 寿証券株式会社                        | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第7号   | ○       |                         |                         |                            |
| 静岡東海証券株式会社                     | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第8号   | ○       |                         |                         |                            |
| 大和証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| 高木証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号  | ○       |                         |                         |                            |
| 内藤証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第24号  | ○       |                         |                         |                            |
| 日産証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第131号 | ○       | ○                       |                         |                            |
| 丸三証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第167号 | ○       |                         |                         |                            |
| 水戸証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第181号 | ○       |                         | ○                       |                            |
| 楽天証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| リテラ・クリア証券株式会社                  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第199号 | ○       |                         |                         |                            |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。